

墨田区議会 新しいすみだ会派報

◎令和4年 第2号 Vol.18
◎発行：墨田区議会新しいすみだ

墨田区議会議員

井上ノエミ

■ 会派代表 井上ノエミからのご挨拶

本会派報では令和4年度の墨田区予算案をご紹介します。本年度の予算では、区民の皆様の生命を守るためのコロナ対策に重点をおきながら、コロナ後のための施策を打ち出しています。また、私、井上ノエミがこれまで墨田区議会で訴えてきた非常に重要な課題についてご紹介いたします。皆様の生活にとってたいへん重要な問題ですので、是非、ご一読をお願いいたします。

墨田区令和4年度一般会計予算の概要

墨田区令和4年度予算書にもとづいて、予算の概略について分かりやすく下の表を作成しました。

歳入(収入) 1,227億円

内訳	金額 構成比
特別区民税	266億円(21.6%)
都交付金・支出金	523億円(42.7%)
国の支出金	250億円(20.4%)
地方消費税交付金	58億円(4.8%)
その他(手数料他)	130億円(10.5%)

歳出(支出) 1,227億円

内訳	金額 構成比
民生費(高齢者・保育児童・障害者等福祉・生活扶助)	56.1%
教育費	9.4%
土木費	8.5%
総務費	7.2%
その他	18.8%

本年度予算のハイライト

- 1 新型コロナウイルス感染症対策を最重要政策として7.6億円。自宅療養者の酸素吸入のための酸素濃縮装置を貸出します。ワクチン接種を加速させます。
- 2 学童クラブを12カ所新設します。定員を402人増やして、待機児童を減らします。
- 3 中学校での不登校対策を拡充します。学校で医療的ケアが必要な子ども達に対する支援を充実します。
- 4 産後ケアが必要な母親のために、病院・助産所で日帰りケア(5時間)を開始。(利用料あり)

行政・財政改革を徹底的に実施するべき!!

新型コロナウイルス感染症という未曾有の危機的な状況の中、区民の皆様の生活を守るためには、区民の皆様の税金を効率的、効果的に使うことが必要不可欠です。そのために私は以下を区議会で訴えています。

区職員の採用数を抑制するべき

墨田区では毎年100人程度の新規職員の採用をおこなっています。職員1名で給与、退職金等で定年までに約3億円かかるすると100人採用すると300億円の人件費がかかることになります。新規職員の採用を減らして少ない職員で区政を運営していくことが、税金を効率的に使うためには非常に重要です。

トリフォニーホールの改修事業に50億円?

錦糸町にあるトリフォニーホールを改修するために約50億円という巨額な改修費用がかかる様です。世界的に有名な演奏家も出演する、墨田区が誇る素晴らしい音楽ホールですが、音響設備等もそれにふさわしくコストも高くなる様です。

コンサートの来場者の90%は墨田区外の人です。区外の人々が主に利用する施設に、墨田区民が巨額の改修費を負担することは疑問です。

区外の来場者にも費用を負担してもらい、区民の負担を少しでも減らすなど区民に納得できる説明が必要です。

チルドレン・ファースト(子供を大事にする) 墨田区を作ろう

安心して通園できる自転車レーンの整備を!!



墨田区は近年子育て支援にたいへん力を入れて、保育園を多く新設してきました。そのため保育園には入りやすくなりました。また、園児が遊べる公園の整備や遊具の設置も進んでいます。

保育園には、自転車で子ども達を連れていくお母さん・お父さんが多いです。そのため、私は、自転車が安全に通行できる**自転車レーン**を整備することを区議会で訴えています。予算がないので整備はあまり進みませんが、子ども達を事故から守る大事な事業ですので、是非優先してもらいたいと思います。

また、子ども達は、大事な頭部を事故から守るためのヘルメットの着用を是非お願いします。

チルドレン・ファーストの墨田区を実現するためには、学校教育を充実することが大事です。私は区議会で学校教育に関係する様々な問題を取り上げてきました。区民の皆様が安心して子どもを育てられる墨田区を作るために、今後も教育の問題に力を入れていきます。墨田区の学校についての私の意見をまとめましたので是非お読みください。

新型コロナウイルス感染症による 学級閉鎖について

新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大によって、区内の学校でも学級閉鎖を実施しています。これは家庭内感染や濃厚接触者との増加により出席停止になる児童が増加したため、インフルエンザと同様に1学級10%の欠席率を基準として、原則5日間の学級閉鎖を行っています。必ずしも学校内で児童から児童への感染が急激に広がっている状況ではありません。今後も児童の健康状態に最善の注意を払って、必要な対策をとってまいります。



学校入学時の家庭の経済的負担を減らせ!!

小学校・中学校の入学時には、たいへん多くのお金がかかります。中学校では制服、カバン、体育着、上履きなどで**最低でも55,000円、高い学校では65,000円**もかかり、家庭にとってはたいへん大きな負担です。私は区議会でも何度もこの問題を取り上げて、教育委員会に少しでもこの負担を減らすことを要求しています。

なお、墨田区では、一定の所得以下の家庭には**就学援助制度(入学準備金)**があり、**小学生は51,060円、中学生は6万円**を支給しています。

不登校を減らすために学校をかえよう!!

墨田区では子ども達の学力が着実に伸びています。これは各学校の先生方の日々の努力が実を結んだ結果だと思います。また更なる学力向上に向けて、オンライン学習やタブレット端末を導入しています。

しかし、同時に小中学校の**不登校の子どもが増えています**。インターネットの登場で社会がものすごい勢いで変化している中、学校は昭和時代とあまり変わっていません。不登校が増えているのは、今の学校が子供たちに合わなくなっているからではないでしょうか。

千代田区の麹町中学校では、**担任制、定期テスト、宿題をなくして**、少しでも学校を変えようとしています。

墨田区は、コロナ対策では全国No.1の成果を出すことができました。是非、教育においても思い切った学校改革をして、すべての子ども達が楽しく通える学校を作る必要があると思います。

英語教育とコンピューター教育の充実を!!

日本の教育は、子ども達の基礎学力をしっかり身につけることに限っては、外国の学校に比べてたいへん優れています。しかし、英語教育とコンピューターの教育に関しては、たいへん遅れていて心配です。英語教育に関しては小学校で英語が導入されました。また、子ども達全員にタブレットが配布されました。子ども達が将来社会で活躍していくためには、英語もコンピューターも使いこなせることが重要です。

墨田区文花の旧区立西吾嬬小学校と曳舟中学校の跡地には**情報経営イノベーション専門職大学(iU)**が新設されました。この大学は、**ICT(情報通信技術)・ビジネス・英語**を重点的に学ぶ大学です。プログラミング学習については、墨田区の学校の教員研修を実施して墨田区の学校を支援する計画です。またこの大学には英語教育に関しても優れた教員がいますので、英語教育に関しても墨田区の学校を支援して子ども達の英語力向上に貢献してもらいたいと思います。



写真:南米ボリビアのオリンピックホスト事業を応援

井上 ノエミ プロフィール

墨田区議会所属委員会等

- 子ども文教委員会
- ひきこもり対策特別委員会
- 墨田区社会福祉事業団評議員
- 障害者施策推進協議会

南米ボリビア生まれ。大学卒業後エコノミストとしてボリビア中央銀行、国連事務所勤務。平成7年来日。平成21年、NPO法人「日本ラテンアメリカ友好協会」を墨田区に設立し、理事長就任。平成22年、日本国籍取得。平成23年、墨田区議会議員に初当選。現在3期目。

ホームページ▶

<http://inouenoemi.com>

ブログ▶

墨田区議会議員井上ノエミ

